

大綱を踏まえた来年度の取組みの方向性について (1/2)

現状と課題(主なもの)

【基本的方向性1 家庭・地域の教育力向上】

- ・家庭教育の知識やスキルを有する家庭教育支援員の配置が十分でないと思われる市町村がある。
- ・就学前施設における「親の学び」講座の実施割合が、小中学校と比べて少ない。(実施した園の割合：R5 55.1%)

【基本的方向性2 安全・安心に過ごせる学校づくり】

- ・いじめの未然防止、早期対応のため、児童生徒のいじめに向かわない態度や能力、援助希求行動能力の更なる育成が必要である。
- ・不登校児童生徒数が10年連続で増加しており、約50%が90日以上欠席である。当該児童生徒の学びの保障のための支援が求められている。

【基本的方向性3 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成】

- ・児童生徒の学びの主体性に関する項目が全国平均を下回っており、児童生徒を学びの主体とする授業力の向上が必要である。

【基本的方向性4 障がいや多様な教育的ニーズに応える】

- ・インクルーシブ教育システムの構築に向け、より適切な学びの場の検討・判断や支援体制の充実が必要である。
- ・日本語指導が必要な児童生徒が増加傾向 (R3:76人、R4:80人、R5:98人) にあり、受入環境を整備する必要がある。



変化の激しい時代に対応した質の高い教育の推進

1 家庭・地域の教育力向上

- (1) 家庭教育支援員の市町村における配置の充実
- (2) 就学前における「親の学び」講座の実施強化
 - 市町村の乳幼児健診等での講座実施【拡充】
 - 就学前施設への説明訪問による啓発推進



2 安全・安心に過ごせる学校づくり

- (1) いじめ対策の継続的な実施
 - いじめ匿名連絡サイト(スクールサイン)の周知、1人1台端末を活用した心と体調の変化の早期把握等
 - スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置の充実【拡充】
- (2) 不登校児童生徒への早期支援
 - 市町村が設置する校内教育支援センターの支援員の人件費に対する支援【新規】
 - 「不登校児童生徒への支援に関する協力者会議」の開催
 - 「オンライン教育支援センター(仮)」の試験運用【新規】
- (3) 人権教育の推進
 - 教職員を対象とした人権教育研修
 - 「熊本県人権子ども集会」の開催

3 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

- (1) くまもと新時代に向けた新たな学びの創造
 - 「新たな学び」プロジェクト校(仮)の指定【新規】
 - ・探究(総合的な学習の時間等)やコミュニティスクール(地域連携)等、質の高い教育の実現に向けた特色ある実践的研究
 - ・小規模校の授業力等の向上に向け、幼保小中高等の連携やICTを活用した他地域との合同授業等を研究
 - 新たな学びに対応する県学力・学習状況調査の実施
 - 子供の新たな学びの実現に向けた探究型教員研修の開発・実施【新規】

共生社会の実現に向けた教育の充実

4 障がいや多様な教育的ニーズに応える

- (1) インクルーシブ教育システムの構築
 - 有識者を交えた現状と課題を検証する場の設置【新規】
 - 学びのものさし(教育的ニーズを的確に把握し、学びの場を検討する共通の考え方)のモデル事業の継続と他の市町村への展開
 - 特別支援教育支援員の増員【拡充】
 - 特別支援学校高等部分教室と県立高校を一体的に運営するインクルーシブな学校運営モデルの構築に向けた検討【新規】
- (2) 外国人児童生徒等の受入環境整備
 - 半導体関連企業の進出をふまえた外国籍児童生徒等の教育環境整備【拡充】
 - 日本語指導担当教員の育成、日本語指導員等の配置促進等【拡充】



大綱を踏まえた来年度の取組みの方向性について (2/2)

現状と課題(主なもの)

【基本的方向性5 キャリア教育の充実、グローバル人材の育成】

- ・開かれた教育課程の実現を推進するとともに、半導体関連産業の進出に伴う県内産業構造の変化と人材育成への期待の高まりに対応する必要がある。
- ・英語が「好き」「分かる」児童生徒の割合が学年進行とともに低下し、英語教育の推進が必要。また、高校在籍時の海外留学者数が伸び悩んでいる。

【基本的方向性6 魅力ある学校づくり】

- ・熊本市以外の地域で県立高校の定員割れが継続している。(R6充足率：熊本市内97.6%(R5 100.4%) 熊本市以外68.3%(R5 71.1%))

【基本的方向性7 子供たちの学びを支える環境づくり】

- ・全国的に教員不足が問題となる中、本県でも110人(不足率1.12%)の教員不足が生じている。
- ・教員の時間外在校等時間は減少傾向にあるものの、依然として長時間勤務の教員が多い状況であり、更なる働き方改革の推進が必要である。



【基本的方向性8 文化・スポーツの振興と生涯学習の推進】

- ・更なる県民スポーツの振興が必要である。中学部活動の地域移行における市町村ごとの進捗の差が見られる。また、スポーツ競技力の強化が必要。

【基本的方向性9 災害からの復旧・復興】

- ・被災した児童生徒の心のケアの継続のほか、被災した文化財の復旧に向け、関係機関と連携した取組が必要である。

【基本的方向性10 子供からの意見聴取・対話】

- ・教育施策の推進にあたって、当事者である子供をはじめとする関係者の意見を積極的に聴取する必要がある。



世界に羽ばたく志ある人材を育てる魅力的な学校づくり

5 キャリア教育の充実、グローバル人材の育成

(1) 地域と一体となったキャリア教育の充実

- 県立高校のキャリア教育に係る経費に対する支援【拡充】

(2) 英語力向上のための取組みの充実

- モデル校におけるAIを活用した英語力向上の取組【新規】

(3) 州立モンタナ大学への生徒派遣継続、台湾の学校との交流促進

6 魅力ある学校づくり

(1) 県立高校の特色化、魅力化の推進

- 市町村による県立高校魅力化コンソーシアム構築支援【新規】
- 学科改編後の魅力化推進(水俣、阿蘇中央等)【新規】

(2) 国際バカロレアの導入推進【拡充】

(3) 熊本版COREハイスクール・ネットワーク事業【拡充】

(4) 県立高校のあり方に関する次期方針の策定

7 子供たちの学びを支える環境づくり

(1) 教員不足解消のための魅力発信、人材の掘り起こし

(2) 働き方改革の更なる促進

- 支援スタッフの増員(教員業務支援員、部活動指導員等)【拡充】
- 県立中学校・高校入試WEB出願システムの構築【新規】
- 次期校務支援システム及びネットワーク環境の構築等【新規】

(3) 1人1台端末の更新をはじめとする教育情報化の推進

- 1人1台端末の更新・活用促進
- 国の達成目標を踏まえた県立学校のネットワーク改善【新規】

(4) 県立学校の施設整備の推進

- 長寿命化プランに基づく設計・工事及び個別の老朽化対策の推進
- 体育館の環境改善に係る調査(暑さ対策等)【新規】

活かふれる熊本の実現に向けた文化・スポーツの振興

8 文化・スポーツの振興と生涯学習の推進

(1) 文化財の保存・活用と文化振興

- 図書館所蔵「肥後藩絵図」のデジタル化推進【新規】

(2) スポーツの振興

- 県民スポーツの振興と「ふれあいスポーツ」の啓発【拡充】
- 部活動の地域移行推進(運動部・文化部)
- 競技力向上に向けた有望選手の早期発掘、育成強化【拡充】



災害からの復旧・復興及び記憶の伝承、『こどもまんなか』視点での教育施策の推進

9 災害からの復旧・復興

- (1) 被災した児童生徒の心のケア
- (2) 被災文化財の復旧(文化財基金等を活用した財政支援)

10 子供からの意見聴取・対話

- 教育施策の立案のための調査やアンケート等の積極的な活用